

名前：

今

「インターネットでニュースを見ることが
できるから、もう新聞や雑誌はいらない。」
という意見を持つ、という人がたくさんいるけ
ど、私はそう思いません。

確かに、インターネットで多くの資料をさ
がることができるし、すぐ世界中の情報を知
ることができるし、とても便利です。けれども、イ
ンターネットは人に「実感」を与えられませ
ん。人間にとっても、「実感」はとても重要な
感覚で、人は「実感」がある物事の中に安全
感や真実を感じられます。でも、人はインタ
ーネットで何も触れないし、何か持っている
気持ちを感ぜられません。そのゆえに、新聞
や雑誌などの書物が必要です。

人にとって、新聞や雑誌はただ情報を集め
る物だけではなく、新聞や雑誌は人の生活の
一部分になりました。もし新聞や雑誌がな
くなった、人はどこがおかしくなった気持ち
を感じる可能性もあります。

こうして、新聞や雑誌は単純な工具ではな

く、人の習慣や感情の一つです。また、新聞
や雑誌には収蔵性がある。ある新聞や雑誌は
単なる書物ではなく、芸術性もあります。紙
の質から版面のデザインまでしっかりと考
えられた物です。もしインターネットで読ん
だら、その芸術性はもたなくなります。

それから、人はただ「視覚」の生物ではないで
す。人にとって、確かにインターネットは便
利ですが、インターネットにも制限性があ
ります。新聞や雑誌の紙のにおい、触感、ま
たは匂いなど。

だからこそ、世界のあらゆる物はまたと
ない特質があります。新聞や雑誌もそうで
す。もう新聞や雑誌はいらないわけにはあり
ません。